

達成度：R7.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

文化観光課の目標（令和6年度）自己評価書

文化観光課長 會田 知央

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は 達成できなかった理由等
1 観光事業 町内外で開催されるイベントへ積極的に参加するとともに、SNSや地域情報誌を活用して情報発信をし、観光地としての魅力アップに努めます。	4	町政施行135周年を記念して「酒々井町ふるさとまつり」と合同で「酒々井千葉氏まつり」を開催、また、Instagramを開設して町の情報をより多くの方へ発信し、町の魅力アップに努めました。
2 コミュニケーションセンター事業 酒々井プレミアム・アウトレットの集客効果を活かし、町の観光物産等を展示するとともに、町内の観光施設等と連携し、訪れる方に町の情報を広く提供することにより、町のイメージアップと誘客を図ります。	4	酒々井プレミアム・アウトレットにおいて、来訪者に向けた町の観光物産等に関する情報を提供し、地域創造発信拠点施設「まるごとしすい」との連携を図りながら、町のイメージアップと町内への誘客を図りました。
3 ハーブガーデン運営事業 しすい・ハーブガーデンの運営を行い、「ハーブのまち酒々井」のPRとあわせ、憩いの場の提供や、観光施設としての魅力向上に取り組みます。	4	しすい・ハーブガーデンにおいてワークショップなどの各種体験イベントや、マルシェなどのイベントを開催し、観光施設としての魅力向上に取り組みました。
4 まるごとしすい運営事業 民間経営の知見やノウハウを生かした自由な発想により、より効果的、効率的な運営を図るため、指定管理者による管理運営を行います。	4	今年度より指定管理者による管理運営を行っておりますが、民間事業者の企画力・アイデアを生かしながら多様化するニーズに応え、公共サービスの質の向上と、効率的な施設運営が図れるよう管理監督を行いました。

5 まちの顔づくり推進事業 江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行い、観光資源として活用すると共に、地域活性化に資するよう、歴史的建造物の利活用に取り組めます。	2	旧相川家については、トライアル・サウンディングによる事業者の募集を行い、その間、1件の施設利用の問い合わせがありましたが、利用には至りませんでした。 旧蒔家については、土蔵の修繕などを含め、まだ整備が進んでいない状況であり、利活用に至りませんでした。
6 酒々井の伝説ものづくり事業 町の文化である民話や古文書等の地域の資源・宝を整理し、データ化を行い後世へ伝承するとともに、町内外へ発信します。	4	徳川清光寺資料の調査研究については、包括連携協定を締結している淑徳大学と連携し、令和2年度より史料調査を実施してきたもので、昨年、調査結果から見えてくる徳川幕府との関係などを広く周知し、町の歴史に興味を持っていただくため、2月15日に中央公民館にて「清光寺史料調査報告会」を開催しました。62名の方々の参加があり盛況に開催することができ、町の歴史や清光寺の歴史を町内外へ発信しました。
7 チャレンジ目標 令和5年度に策定した「歴史的建造物利活用計画」に基づき、町内の歴史的建造物の利活用について検討を進めます。	2	旧相川家については、トライアル・サウンディングによる事業者の募集を行いました但し利用には至らず、旧蒔家についても、土蔵の修繕などを含めまだ整備が進んでいない状況であり、利活用に至りませんでした。